

# みくまの 10月号 マンスリータイムズ



## 地区別活動(色別活動) 地域ごとに児童生徒が交流します。

本校は校区が広いため、小学部、中学部、高等部の全児童生徒と教員が地区ごとに分かれて活動をする縦割りの時間を設定しています。それぞれの地区に色をつけているので、色別活動という名前になっています。

地区別で活動することによって、普段は関わりの少ない他学部の児童生徒、教師と関わる機会ができます。この地区別活動は、地区ごとに児童生徒、教員が顔を合わせて活動することで災害時等の防災の観点からも互いに助け合ったり、コミュニケーションを取り合ったり等、よい効果を及ぼすことも期待されています。

まず、色別活動の時間に各地区でリーダーと副リーダー、年3回の活動内容を決めて、発表します。活動は、カラオケや宝探し、ボウリング、魚釣り、野球など、各グループで話し合っ決めていきます。写真はオレンジチームのカラオケです。みんなで協力して学部を超えて、楽しく交流することができました。



## 何度も練習を重ねた避難訓練！

9月12日(火)に、全校児童生徒対象の火災避難訓練を実施しました。給食室厨房で、調理中に火災が発生したという設定で行いました。みくまの支援学校では、1年の内、全体で3回、各学部で3回の計6回の避難訓練を行っています。そのため、避難の際は大きな混乱もなく、タオルや手で口を押さえ教員の指示に従い、スムーズに行動することができました。

体育館に避難してからも口元を隠している小学部低学年の児童もいました。その静かに待機する児童の様子を見て、改めて防災教育の大切さを感じることができました。



## 力を合わせて頑張った 高等部支援学校体育連盟ソフトボール大会！

9月8日(金)に海南市民運動場にて、和歌山県支援学校体育連盟第27回ソフトボール大会が行われました。本校からは、高等部選択科目スポーツコースの生徒9名が参加しました。

序盤は、試合という緊張感から、動きが硬くなりがちでした。しかし、3年生の声かけで、みんな声が出るようになり、次第に生き活きとプレーできていました。試合には負けましたが、「悔しい！」と思ったり、仲間のプレーに「ドンマイ！」と声を掛け合ったり、他校の生徒と楽しく談笑したりと、「勝ち」よりも「価値」がある大会となりました。これからも、「心をひとつ、力をひとつ」にして、スポーツに取り組んでいきたいと思います。

